

人口が増加していく住み良いまちづくり部会

1. 社会動態

	提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
(1) 転入促進	<p>国や企業の研究機関の誘致。(1つくば市を参考に)「鳥取を環境のシリコンバレーに」(鳥取青年会議所)</p>		<p>鳥取大学や鳥取環境大学といった学術研究基盤を活用した産学官連携の取り組みを強み・魅力として活かし、研究機関など企業誘致の促進を図っています。また、既存の支援事業に自然科学研究所の枠を加え研究施設の立地も対象とするなど、支援面の充実も図っています。</p>	<p>企業立地・支援課</p>
	<p>世界的食糧危機が叫ばれる中、新鮮・安全・豊富な食材を誇る「食のみやこ」鳥取を積極的にPRしていくべき。(鳥取に来れば食いつぱぐれはない。)</p>		<p>関西圏をはじめとする県外での各種イベントにおいて、鳥取の魅力ある「食」を積極的にPRするとともに、物産展やアンテナショップ等を活用しPRしています。</p>	<p>経済戦略課</p>
			<p>本市のブランド農産物登録制度や県のふるさと認証食品の登録を推進し、安全・安心な農産物の生産振興とPRに努めています。</p>	<p>農業振興課</p>
	<p>転勤族に良い印象をもってもらうことが大切。離鳥の際、鳥取のPR役を果たしていただけるような仕組みが必要。 鳥取県「ふるさと鳥取ファンクラブ」(昭和63年度~)</p>		<p>転勤族の方を対象とした取組ではなく、観光大使への情報提供、PRポスターを使つての県外PR(鳥取・因幡PR)を行っています。</p>	<p>観光コンベンション推進課</p>
	<p>県外者が鳥取に定住しようとする際、何を求めているのか、を把握する。(ニーズ調査)</p>		<p>定住促進・Uターン相談支援窓口において、専門相談員が、移住希望者のニーズ等相談にあたって調査をしています。 相談・支援者数 665人(平成21年9月末日)</p>	<p>地域振興室</p>
	<p>UJIターン者を地域で温かく迎え入れる風潮の醸成、雰囲気づくり。(よそ者に無関心と言われる鳥取人気質のチェンジ)</p>		<p>地域住民と移住者による定住者交流会を実施しています。市報・移住定住特集による住民へ周知を図っています。</p>	<p>地域振興室</p>

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

	提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
(1) 転入促進	市の外郭団体等のポストに、UJIターン者用の特別枠の設置	×	<p>市の外郭団体は、独立した法人格を持つものです。このような特別枠の設置は、団体が主体的考えるものがありますが、人件費の増加につながるポストの増加は、経営健全化をめざし努力を重ねている団体が多い中で、現実的に困難と考えられます。</p> <p>なお、職員採用・募集は、UJIターン者も含めてホームページ等で広く行っている。また、UJIターン者の定住を促進するうえで、経験者による対応が効果的であると考え、UJIターン者を対象に定住促進・Uターン相談支援窓口の専任相談員を採用しているところです。</p>	行財政改革課
	高速道路整備に伴い交通の利便性を増すことや、「医療・福祉」が充実している点を強みとして、関西の年配者をターゲットにUJIターンや二地域居住		<p>特に大阪の移住定住関連イベントに定住促進・Uターン相談支援窓口を臨時開設し、本市への移住・二地域居住を促進しています。</p> <p>また、平成19年度に鳥取関西事務所を開設し、関西圏を中心に、観光情報の発信と企業誘致を主な業務として、UJIターン就職や定住促進など鳥取市に関する様々な情報を提供しています。</p>	地域振興室
	UJIターン者が鳥取の良さを情報発信できるような仕組みづくりやその支援。(用瀬町「UI会結成の動きなど」)		定住促進・Uターン相談支援窓口を通じた定住者が「鳥取ふるさとUI(友愛)会」を設立し、定住者同志の情報交換や交流を行いながら、ホームページで活動の様子とともに鳥取の良さを情報発信しています。	地域振興室
	まちなか居住推進策の一環として、団塊の世代を対象にした高齢者専用賃貸住宅		中心市街地での高齢者グループリビング住宅体験入居事業について検討します。	市街地整備室
	耕作放棄地の活用と新規就農ニーズを結びつけた施策の展開。	○	遊休果樹園及び遊休化しそうな果樹園で、条件のいい樹園地を新規就農者に提供するための仕組みとして「果樹銀行」制度を創設(平成21年6月)しています。	農業振興課

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
(2) 転出抑制	<p>大学・高校卒業生を鳥取に留めるためには雇用の場の確保が重要。</p>	<p>・雇用創出を図るため、企業誘致を最重要課題として位置づけ、食品関連分野や環境関連分野など、今後成長が期待される産業を視野に入れた誘致活動の取り組みを行っています。また、まとまった工業用地が少なくなってきたため、新たな工業用地として河原工業団地(仮称)の整備を進めています。 ・市内中小企業が実施する設備投資や販路拡大への支援制度を拡充し、地元雇用の安定に努めています。</p>	<p>企業立地・支援課</p>
		<p>鳥取環境大学入学就職奨励金、鳥取市専修学校就職奨励金を設けて、市内就職を促進する取組を行っています。</p>	<p>企画調整課</p>
		<p>・鳥取市と鳥取大学との意見交換会において、大学生の市内定住に向けた就職促進について協力を依頼するなど働きかけを行っています。 ・若者地元定着促進事業として、就職を希望する高校2年生を対象に市内企業見学会の開催、鳥取市雇用創造協議会で合同企業説明会を開催するなど、新規学卒者をはじめ、求人企業の開拓と求職者の就業支援を行っています。</p>	<p>経済戦略課</p>
	<p>本市の製造品出荷額の約8割を占めている電子部品・デバイス、情報通信機械等を中心とした大企業のサテライト営業所の地方展開への取り組みや、ITを活用した在宅勤務の推進など、地方展開に対応するためのITの支援、人材育成。</p>	<p>コミュニティビジネスやソーシャルビジネスの推進に取り組みながら、ITを活用した在宅勤務等の幅広い働き方を促進しています。また、雇用創造推進事業等によりIT講座を実施し、IT人材の育成に努めています。</p>	<p>経済戦略課</p>
		<p>・ソフト開発や情報システムの構築などIT関連企業の誘致を図るとともに、企業が行う人材育成事業に対して支援制度を実施しています。 [平成19、20年度実績] IT関連企業誘致件数3件(マルチ(株)鳥取オフィス、アイシーコム(株)鳥取事業所、(株)ITTR)</p>	<p>企業立地・支援課</p>

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
	<p>地域・地元を継承するという、地域ぐるみの風潮の醸成。</p>	<p>・地域の伝統芸能、伝統行事などの地域遺産の保存・継承を目的として、文化芸術の振興に顕著な業績をあげた個人・団体に文化賞の顕彰、伝統芸能活動に取り組んでいる保存会等の活動支援などを行っています。 ・平成21年度は、市の発展に貢献した人物等120人を紹介する冊子を作成しています。「鳥取市人物誌『きらめく12人』」(平成22年1月発行予定)</p>	<p>文化芸術推進課</p>
	<p>中山間地域の人口減少防止策としての公共交通手段の確保。</p>	<p>・公共交通機関は、マイカーの普及や少子化等により年々利用者が減少しており、事業者は厳しい経営環境にあります。 ・そのなかでもとりわけ路線バスは、高齢者や学生など車を利用できない人にとって最も身近な交通手段であるため、国・県・市はバス事業者に対し補助金を交付して路線維持に努めています。</p>	<p>交通対策室</p>
	<p>高齢者最寄りの商業施設の確保。</p>	<p>平成21年度に鳥取県が中山間地域の安心・安全な生活を確保のため、地域に不足するサービスなど社会貢献を伴うコミュニティビジネスの起業等を支援するため事業が創設しており、鳥取市では、鳥取市河原町西郷地区での地域の空き店舗を活用して小売業を開業(事業主体:おもてや(有田誠商店))が採択されています。</p>	<p>地域振興室</p>
		<p>中心市街地においては、商店街の空き店舗の解消や商業者グループ等の販促活動を支援しています。 また、市民が主体となって、地域資源(人・物・金等)を活用し、地域課題の解決をビジネスとして取組む「コミュニティビジネス」の育成、普及のための支援等を検討しています。</p>	<p>経済戦略課</p>
<p>(3)交流人口の増大</p>	<p>中心市街地を歩行者と自転車の行き交いにぎわいのある街にするためのパーク&ライドの推進。</p>	<p>平成20年度の鳥取駅前・賑わいのまちづくり実証事業において、パーク&ライドを実施した。今年度の実証事業は、事業の一環として昨年度より規模を拡大したパーク&ライドの社会実験を行う予定であり、恒久的な実施に向けて検討を行います。</p>	<p>市街地整備室</p>
	<p>自転車を活用しやすくするための道路整備・駐輪場整備(中心市街地)。</p>	<p>鳥取駅高架下に市営自転車駐車を2ヵ所設置しています。</p>	<p>交通対策室</p>

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

提案内容		実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
	空き家など既存の建物を整備し、長期滞在型リゾート客の受け入れ。		交流人口の増加の取組として、各地域におけるグリーンツーリズムの取組があります。農業体験、特産物加工品づくり、民泊などの地域特性を活かした交流が行われています。 なお、空き家を活用としては、お試し定住体験(鳥取市への定住を希望される方に一定期間体験住宅を賃貸)を佐治町と鹿野町で行っています。	地域振興室
(4)その他	地元大学の魅力創出(地元大学への進学促進策として) ・鳥取環境大学(環境、安全・安心・健康)生物系薬学の研究部門、医療関連技術者の養成部門の設置 ・鳥取大学資源観光の開発研究(森林・原野・平野・海岸・海底資源) 例)ジオパークの展開としての山陰海岸の海中博物館的な活用		鳥取環境大学では、平成21年度に環境マネジメント学科の創設や既存学科名称の変更などの学科改編を行いました。 また、「鳥取環境大学奨学金」「兄弟姉妹施設費免除」「アパート(下宿代助成)」等の新規学生支援策の創設し、大学への進学促進策を講じています。 本市においても、独自の支援策として、鳥取環境大学入学・就職奨励金制度の創設などを行うとともに、本市の提案により設置された改革検討委員会に参加し、将来的な学部、学科、教育内容の検討や設置形態のあり方などについて検討しているところです。 鳥取大学の教授が、山陰海岸ジオパーク推進協議会の学術ワーキングのメンバーであるなど、山陰海岸ジオパークの推進に連携して取り組んでいます。 なお、平成21年9月19日にジオパークの資料館として『新温泉町山陰海岸ジオパーク館』がオープンしており、ジオパークをテーマとした民間主催のイベント等も開催されています。	企画調整課
			・産学官連携の取組みや学生の積極的なまちづくり活動等により、地元大学の魅力の創出や発信に努めています。	経済戦略課

2. 自然動態

提案内容		実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
(1)総合的な子育て支援強化	育児休業はもとより産前産後休暇自体取りづらい中小零細企業に対し、制度活用に対する積極的な呼びかけや支援策が必要。(活用企業への財政支援を講じるなど)		企業における子育てしやすい環境づくりの促進を目的として、平成20年度から子育て支援に積極的な企業を次世代育成優秀企業に認定し、広く市民に周知するなど、企業等の次世代育成に係る環境整備を推進しています。 平成20年度は9社を認定し、19年度表彰の3社、18年度表彰の4社を加えた16社を次世代育成優秀企業として認定しています。	児童家庭課

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

提案内容		実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
	2世帯、3世帯同居を希望する世帯を支援する施策の展開(例えば2世帯、3世帯同居のための住宅改修費を助成)		・人口増加の視点での住宅支援としては、「UJターン住宅支援事業」として、県外から鳥取市へ転入する者への住宅の新築・改修等の助成について、最高200万円を限度として実施しています。	建築住宅課
(2) 医療の充実・健康寿命の延伸	長寿(後期高齢者)医療制度の開始に伴う高齢者の不安への配慮。		長寿(後期高齢者)医療制度が円滑に運営されるよう、平成20年度に制度が施行される前から、とっとり市報や公式ホームページ、CATV、出前説明会などを通じて周知に努めてまいりました。 また、国の責任において、高齢者の方を含め、すべての国民が将来に向けて安心して医療を受けることができるよう、長寿医療制度の見直しと理解を得るために周知を図るよう、国に対し要望を行なってまいりました。国においては、平成20年度の制度施行後、保険料の軽減措置の拡大や保険料の支払方法の見直し(口座振替への選択性の導入)を行われております。	保険年金課
		○	長寿医療制度加入者全員に「健康診査受診券」を送付して健診の受診勧奨を行っています。	中央保健センター
	現在約3割となっている健康診査の受診率向上に向けた受診環境の整備。(土日の受診体制整備)	○	健診は集団健診か医療機関における個別健診で受診することとなっているため、土日に健診を実施している医療機関であれば受診可能です。また、今年度休日がん集団健診を実施するよう計画しています。	中央保健センター
(3) その他	出生率の向上策以前の問題として、結婚奨励策が必要(結婚相談所の開設)。既存の事業として、東部広域行政管理組合の「プチ・カップリングツアーいなば」があるが、結婚適齢期の男女の出会いの場・きっかけづくりや、きっかけづくりに取り組む団体への支援も必要。		東部広域行政管理組合の取組の他に、鳥取市若者会議が9月に婚活事業を行い、今後も計画すると聞いています。婚活事業は、民間で実施もされており、市としての支援方法などの検討も必要と考えています。	企画調整課
	自殺者の減少に向けた取り組みの推進。(いのちの電話への支援強化)	○	・「心の健康づくり」講演会を実施しています。 ・うつ予防(自殺予防)の演劇の制作上演およびDVD化。 ・いのちの電話相談員の募集(市報) ・いのちの電話主催の講演会の後援	中央保健センター